

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ディグ・スマイル前橋西教室			
○保護者評価実施期間	2026年6月1日		～	2026年6月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2026年6月1日		～	2026年6月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年7月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫しています。	発達支援の5領域【言語・コミュニケーション】【運動・感覚】【認知・行動】【人間関係・社会性】【健康・生活】に沿って支援を行っています。それぞれの領域プログラムを多くの児童が満遍なく参加できるよう、毎日1領域ずつ実施してローテーションさせています。	それぞれの領域のプログラムが同じものが繰り返されがちなので、新しい視点でのプログラム考案に努めています。
2	お子さまや保護者様との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされています。	毎日の送迎時に児童様の一日の様子や、プログラム内容などを含めたフィードバックを徹底しています。また、昨年度から導入した連絡アプリで利用申請や欠席連絡のやり取りを開始しました。申請の締め切りをメッセージで送らせていただいたり、電子申請が難しい場合には紙媒体でも対応させていただいております。	連絡アプリは随時アップデートをしていく予定なので、徐々に便利な機能が解禁されていくかと思います。また、定期的な面談も昨年度から開始しています。
3	お子さまが安心して通所し、ディグを楽しみにしています。	来所を開始したばかりのお子さまには、まず教室に慣れてもらい、職員との信頼関係の構築をメインに支援をするよう心掛けています。さまざまな課題をお持ちなお子さま達ですが、信頼関係がなければ指導も入りづらくなってしまいますので、プログラムの内容や生活態度への指導は関係構築の後に据えるようにしています。	教室内の教材や玩具を定期的に更新しています。飽きが来ないように様々なツールをご用意できればと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のお子さまと活動する機会がないことです。	放課後児童クラブとの交流については児童クラブを併用利用している方のみ情報共有等を行っておりますが、教室全体での関わりは今のところ機会がございません。	地域のイベントへの参加や、児童館への利用等の頻度を上げて地域交流を図れればと考えています。
2	保護者同士が交流できる機会・イベント実施が出来ていません。	土曜日、祝日も開所しており、保護者会等の日程調整が困難な状況です。	不定期開催で親子参加型のイベントを開催しております。狭い教室なので多くのご家族様の参加はしていただけません。が、保護者様同士の交流の機会になればと考えています。
3	ご家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)やご家族の皆様等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていないことです。	専門的なペアレントトレーニングを実施できる職員がいない為となります。	保護者様が参加可能なオンライン研修が不定期で開催されておりますので、実施の際には保護者様への周知をより強化していければと考えています。